





あした  
夢や希望を持てる未来へ  
上を向いて歩もう

京都府知事 西脇 隆俊

あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症によって、府民生活や社会経済活動がかつて経験したことのない甚大な影響を受けた年でありました。さまざまな困難の中、感染拡大防止にご協力を頂いているすべての府民の皆さま、事業者の皆さま、医療従事者をはじめ関係の皆さまに、心から感謝と敬意を表する次第であります。

人類は長い歴史において幾度となく感染症の脅威にさらされながら、必ず乗り越えてきました。

「下を向いては、虹を見つけることはできない  
～You’ ll never find a rainbow

if you’ re looking down～」

これは世界の喜劇王、チャールズ・チャップリンの言葉です。コロナ禍を乗り越えた先にある、未来

に夢や希望を持てる新しい京都に向かって、われわれは上を向いて歩んで行かなければなりません。そのための足元固めとして、医療・検査体制については関係機関の協力のもと、京都府が責任を持って対応してまいります。

また、地域経済に活力を取り戻し、府民の皆さまの生活と雇用をしっかりと守ってまいります。その上で、京都府総合計画に掲げた将来像の実現に向けて、府民の皆さまが実感できる積極的な施策を推進し、全庁一丸となって取り組みをさらに加速させていく所存です。

いよいよ本年には「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が、翌年には「ワールドマスターズゲームズ2021関西」が開催されます。人類が新型コロナを克服した証しとして大会を成功に導き、さらには2022年度中の文化庁の全面的な移転など、京都の持つ文化の力で、地域の隅々まで光が満ちるように元気な未来を築いてまいります。

本年は丑年。牛の歩みも千里と申すように、一歩一歩、力強く歩みを進め、成功を導く年とされています。地域に子どもたちの笑い声が響き、すべての府民が笑顔で過ごせる京都を実現するため、皆さまと共に歩んでまいりたいと願っております。

皆さまにとりまして、本年が健やかで幸多き一年でありますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



コロナ禍を乗り越え、  
京都の明日を共に描きましょう！

京都市長 門川 大作

新年あけまして、おめでとうございます。

コロナ禍において、感染拡大防止に多大な御尽力を賜っている市民・事業者の皆様。医療・福祉・子育て支援・教育はじめ、それぞれの現場で献身していただいている方々に、心から感謝申し上げます。

この危機の中で、市民の皆様とのいのちと健康、暮らしをしっかりと守る。そして、困難な時こそ京都ならではの「地域力」「市民力」をいかし、府市協調、国や経済界等との連携を深め、新たな課題の解決に挑戦する。昨年は、その決意を新たに、市民ぐるみで行動した一年でした。

本市では、コロナ前から市民の健康を支える保健師を段階的に増員。人口1万人当たり2.3人（政令市平均1.56人）で、100万人以上の都市トップの体制を確保しておりますが、更に拡充しました。

初の感染者が確認された直後から、全国に先駆けて24時間対応の相談窓口を設置。京都府、医師会等と連携し、診療・検査体制も抜本的に拡充するなど、いのちと健康を最優先に「正しく恐れる」対策を進めてまいりました。

さらに影響が長引く中、市会での御議論を経て、6度にわたる補正予算で、“雇用を支える”中小企業・地域企業の事業継続を徹底支援。人々の“心を潤す”伝統文化・産業や芸術を担う方々の御活動もサポートしてきたところです。

個人の日常から社会の有り様まで大きく変わるウィズコロナ時代。デジタル化、働き方改革、新たなビジネスモデル…。危機をチャンスに、スタートアップの力で社会的課題を解決。京都経済センターを核に、京都がその先頭に立つ。「観光都市」から「観光課題解決先進都市」へ。新たに作成した「京都観光モラル」で、観光客、事業者、市民の皆様とともに感染防止と地域の豊かさにつながる新しい観光モデルをつくる。本年は、そんな京都の在るべき姿を共に描き、挑戦と改革を進めてまいります。

構造的に脆弱な財政構造、地方交付税の減額、そんな中でも一人ひとりを徹底的に大切にす福祉、教育、子育て支援、防災減災などの取組が、「都市特性評価」3年連続1位などの輝かしい実績へとつながりました。しかし、コロナ危機で大幅な税収減となり、来年度500億円もの財源が不足する見込み。持続可能な行財政の確立へ、全庁挙げて取り組みます。そして、「誰一人取り残さない」SDGs、持続可能な社会の実現に向け、感染防止、経済回復、環境対応、社会・市民活動…。これらをしっかりと並立させ、全力を挙げてまいります。

京都の千年の歴史は、あまたの危機を乗り越え、発展してきた歴史。歴史に学び、オール京都で力を合わせ、未来を展望していく決意です。

本年もよろしくごお願い申し上げます。

# 栄えある受章おめでとうございます



令和2年秋 旭日双光章

浅沼 健夫 氏

京都府喫茶飲食生活衛生同業組合理事長

# 栄えある受賞おめでとうございます

令和2年度生活衛生功労表彰受賞者 (敬称略)

## 厚生労働大臣表彰者

食鳥肉販売業 上田 行廣

クリーニング 安田 義一  
※中央推薦

## 中央会理事長表彰者

麺類飲食業 吉里 年和

寿司 木村 裕一

料理 堀場 弘之

クリーニング 十二里 進  
※中央推薦

旅館ホテル 磯橋 克康

中華料理 松下 貞幹  
※中央推薦

## 知事表彰者

旅館ホテル 石間 太朗

麺類飲食業 前田 智史

食肉 木村 昌彦

料理 田中 秀幸

美容業 原口 潔治

飲食業 四方 幸廣

## 協議会会長表彰者

理容 野村 宜孝

喫茶飲食 奥村 俊明

理容 岩崎 光哲

中華料理 杉山 公和

旅館ホテル 山本 信

料理 寺田 弘和

食肉 澤田 彰広

飲食業 西村 裕行

麺類飲食業 堺 幸夫

飲食業 若杉 一利

## 令和2年度 生活衛生功労者表彰式及び感謝状贈呈式

令和2年11月27日、京都ガーデンパレスに於いて「生活衛生功労者表彰式及び感謝状贈呈式」を開催しました。「生活衛生功労者表彰式」では、京都府知事 西脇隆俊 様より、京都府知事表彰状の授与をいただき、受賞者への祝辞を賜りました。「感謝状贈呈式」では、長年にわたり京都府の生活衛生同業組合の発展に多大なる貢献をいただいています、衆議院議員 伊吹文明 様に京都府生活衛生同業組合協議会会長 山岡景一郎より感謝状の盾を贈呈いたしました。



## 生活衛生営業新型コロナウイルス感染症対策実施中！



生衛業は、日頃より公衆衛生への取組みが行われている業種ですが、新型コロナウイルスは、常に感染拡大につながるリスクがあることを経営者と従業員が認識し、更なる対策を必要とする感染症です。

京都府では、事業者自らがガイドラインに取組むことを宣言する『ガイドライン推進宣言事業所』にその証のステッカーが交付されており、オール京都で取組みがなされています。

更に、生活衛生同業組合では感染防止策の実践の徹底を促進するため、「業種別ガイドライン」の遵守に取り組んでおり、組合役員等がお店を巡回し、基準を満たした事業所に『新型コロナウイルス感染防止対策取組店証』を交付しています。

お客様・利用者の安心安全やご家族・従業員を守るためにも感染防止対策の徹底をよろしくお願いいたします。

### SeeLホームページ・Facebookのご登録をお願いします。



新型コロナウイルス感染症対策に係る助成金・協力金やウィズコロナのための講習会など、生衛業に特化した情報を随時発信しています。スマートフォンのホーム画面への追加、Facebookのフォローをよろしくお願いいたします。

ホームページ

Facebook



## 指導センター事業開催報告・お知らせ

### ◆ 生活衛生営業経営研修会 (令和2年11月27日)

『コロナ時代を乗り切る強運な生き方』  
講師 学校法人平安女学院 理事長 山岡景一郎 氏

強運に生きるコツは、『笑うこと』『何事も面白いがること』そして『決して諦めないこと』。講師の強運な体験談を交えながら、強運に生きるということとは、諦めずに行動することであると話をいただきました。また、新型コロナウイルス感染症について「人類は様々なウイルスによる困難を乗り越えてきている。大切なのは、心の中にまでコロナを忍び込ませないようにすること。生衛業も幾多の困難を乗り越えてきた。今回も共に乗り越えましょう！」と心強いお話をいただきました。



### ◆ クリーニング業務従事者講習 (令和2年11月19日)

### ◆ クリーニング師研修 (令和2年12月6日)

クリーニング業法に基づく条例や新型コロナウイルス感染症について、長期間放置品への方策と対応、これから注意が必要となる素材と事故防止対策など、業界を取り巻く環境や消費者から求められている諸問題について受講いただきました。

### ◆ 後継者育成支援事業出前授業 (令和2年12月10日)

寿司組合 京都市立洛風中学校

業界を代表する職人を講師に迎え、仕事に対する向き合い方についての講義や質疑応答、巻き寿司や握り寿司の実演と実習を通して、生衛業の一層の理解を深めてもらう機会となりました。

### [会議・研修会等]

#### ● 後継者育成支援講演会

日時 令和3年2月9日 (火) 14:00~15:30  
場所 平安女学院大学 室町館Mホール  
演題 賀茂の文化継承と神社の維持  
講師 田中 安比呂 氏 / 賀茂別雷神社 (上賀茂神社) 第204代宮司

#### ● 理事会

日時 令和3年3月11日 (木) 10:15~  
場所 平安女学院大学 室町館Mホール

## Kyoto SeeL通信

Vol.201 2021新年号

編集・発行人

山岡景一郎

公益財団法人  
京都府生活衛生営業指導センター

京都市左京区田中西樋ノ口町90  
TEL 075-722-2051  
<https://www.kyoto-seel.com/>

Homepage

Facebook

